

社会学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

井上 慧真

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は「若者」という視点から、日本社会の様々な問題を社会学的に考えることを目標とします。履修者の個々の関心に応じて、若者と家族、若者と仕事、若者とコミュニケーションなどのテーマを選び、報告や討論を行います。

2. 授業の到達目標

若者について社会学的に考えるための知識を身に付けること。また、レジユメの作成や授業における報告、討論を通じて、特に自分自身がより深く考えたいと思えるテーマを見つけること。

3. 成績評価の方法および基準

出席および議論への参加(40%)、報告(40%)、期末レポート(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

森下伸也著 『社会学がわかる事典』 日本実業出版社、2001

浅野智彦著 『図解 社会学のことが面白いほどわかる本』 中経出版、2002

中西新太郎・袁輪明子編 『キーワードで読む現代日本社会 第二版』 旬報社、2013

5. 準備学修の内容

自身の関心のあるテーマについて、適切な文献・論文・データを参照して報告資料・レポートを作成すること。参照した文献・論文・データの内容を紹介するだけでなく、自分自身の考え(関心をもった理由や、報告資料・レポートの作成過程で考えたこと)も明確に表現すること。

6. その他履修上の注意事項

- (1)必ず初回の授業に出席して下さい(やむを得ない理由で欠席する場合は連絡すること)。
- (2)成績評価は授業に継続的に参加し、報告や質問を行ったかを重視します。
- (3)病欠や就職活動による欠席など、やむをえない理由(学生便覧に掲載のあるもの)以外で報告を欠席した場合、単位を認定しません。またやむをえない理由による欠席であっても、必ず事前に連絡をして下さい(事前連絡なく欠席した場合、単位を認めないことがあります)。電車の遅延などやむをえない理由を除く遅刻は、減点の対象になります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション・報告担当の割り振り |
| 【第2回】 | 報告・討論(1) |
| 【第3回】 | 報告・討論(2) |
| 【第4回】 | 報告・討論(3) |
| 【第5回】 | 報告・討論(4) |
| 【第6回】 | 報告・討論(5) |
| 【第7回】 | 報告・討論(6) |
| 【第8回】 | 報告・討論(7) |
| 【第9回】 | 報告・討論(8) |
| 【第10回】 | 報告・討論(9) |
| 【第11回】 | 報告・討論(10) |
| 【第12回】 | 報告・討論(11) |
| 【第13回】 | 報告・討論(12) |
| 【第14回】 | 報告・討論(13) |
| 【第15回】 | まとめ |